

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
マンガ制作 5											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	オギノユウヘイ			実務経験	有	職種	マンガ家				
担当教員紹介											
マンガ家。 代表作に『アクノヒガン BEYOND EVIL』『絶望の楽園』など多数。最新作に近未来異能麻薬アクション『ドーブマン』連載。											
授業概要											
この科目では、全員共通の課題として16P以上のマンガを前期期間で制作を行う。制作において、常にプロのマンガ家・編集者より直接的にストーリーや表現方法について学ぶことにより、マンガ業界で発表していくために必要な知識・技術を磨いていく。定められた期間で作品制作することにより、クリエイターとして、仕事としての意識に必要な事項である創作活動とスキルのアップ、協力相談の大切さ、厳格なルール遵守等を学ぶ。現職のマンガ編集講師からの最新情報、業界研究を学び企画側と描く側、読み手の三つの観点からマンガを捉えられるようになることを学習目標とする。											
到達目標											
この科目では、作家において必要なマンガ表現の技術・知識を磨くと共に、編集者としての考え方や作品の売り出し方を学び、企画側と描く側、読み手の三つの観点からマンガを捉えることを主目標とする。授業内で制作する課題は、必ず出版社への持込み・投稿を行う他に、コンテストへの応募や個人でWEB上に上げていくことで、在学中における受賞やデビューも目標とする。											
授業方法											
この授業では、常にプロのマンガ家・編集者より作品の添削を行いながら課題制作を行うことにより、マンガ業界で発表していくために必要な知識・技術を磨きつつ、企画側・描く側・読み手の三つの観点からマンガを捉えることにより多角的な考え方を身に付けていきます。授業内で制作する課題は、デビューや就職のために外部への発表や、投稿・持込みも率先して行う。											
成績評価方法											
課題 70% 課題を総合的に評価する 成果発表 10% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、1年次の授業の応用となるため復習を行い、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。常に制作する作品は仕事と同義であると認識させ締切を守る意識を養うため課題の提出厳守及び、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。											
教科書教材											
この授業では、1年次の授業の応用となるため復習を行い、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。常に制作する作品は仕事と同義であると認識させ締切を守る意識を養うため課題の提出厳守及び、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。											
回数	授業計画										
第1回	ネーム講座 高橋講座（編集者 月1回講座） プロット ネーム進行										
第2回	ストーリー講座 コマワリ構成 ネーム直し＆切										
第3回	キャラクターカアップ講座 下描き										
第4回	制作日 下描き＆切										
第5回	業界研究講座 編集者とマンガ家来校 ペン入れ										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
マンガ制作 5	
第6回	ペンタッチ講座 ペン入れ
第7回	ペンタッチ講座 ペン入れ
第8回	ペンタッチ講座 ペン入れ
第9回	ペンタッチ講座 ペン入れ
第10回	業界研究講座 出版社代表 編集長来校
第11回	仕上げ効果講座 トーン処理
第12回	仕上げ効果講座 トーン処理
第13回	仕上げ効果講座 トーン処理
第14回	仕上げ効果講座 トーン処理
第15回	前期制作〆切 講評会 卒業制作ネーム